



理事長挨拶

急に寒さが戻ってきてしまいました。みなさんは如何かお過ごしでしょうか？僕は何か蕁麻疹が出たり消えたりして困っています。季節の変わり目で免疫力が低下しているのかもしれない。会報第二号のテーマは「心のつながりとは」です。非常に難しいテーマですが、会員のそれぞれの解釈と想いを書いていただきました。

今月のテーマ

「心のつながりとは」

心とはなにか？そして心のつながりとは何か？第二号にも関わらず深いテーマとなりました。各理事・会員の想いを綴って頂きました。

副理事長・園芸委員長 高橋竜治

心のつながりとは？
心って何を表すのでしょうか？人それぞれ表現の仕方って違うと思います。
私自身の心の繋がりを表現すると、思い(想い)の共有だと思えます。
心が病んだときにも、思い(想い)が共有しあえる事で解決への道筋が生まれてきます。
すなわち、心=思い(想い)だと思っています。
大和塾を通じて、心のつながりを求める事は、とても素晴らしい事だと確信します。お金に捉われる事なく、日本人が日本人らしく生きる生き方を学ぶ場所だと思えます。
些細な悩みを抱えるのと抱えないのでは、抱えない方が楽しいはず。人生は1回きりですので楽しくやりたい事をやれば良いのですが、全ての行動には、ルールがあります。ルールを無視して好きな事をやすのは無謀な事です。日本人が日本で日本人らしく生活するルールも、この大和塾で学ぶ事が出来ます。
私が思う、心のつながりは、共有する思いが重なる事だと思えます。

副理事長 鶴木聖子

人が生きていく中で心に不安を抱えたり、自分は何のために生きてるのかな？なんて思ったりする時が誰しもあると思います。人って何かしらつながりを持っていたいんですよね。例えば家族だったり、地域の人達、そして仕事の仲間など。経済が豊かになった半面、心の豊かさがなくなってそれを求めている人が多いと思います。心の豊かさをつくるってどういう事かな。
自分の心は自分の人生をつくる。愛や感謝、プラス思考で明るく前向きに・・・なんてわかっているけどなかなか出来ないのが現実。そんなにいつもプラスでなんかいられませんよね。けれど、同じ思いを持つ仲間とつながっている時、めげた時にも周りの人が彩を添えてくれる。こういう人達とつながっているということ、そしてそんな存在がある事で、人ってとっても強くなれるんですよね・・・心をつくるのは自分なんだけれど、それを支えてくれるのは同じ思いの仲間がいてくれるからこそ！大和塾はそんな心のつながりを大切にしている仲間がいる塾なんですよ。武士道の精神を大切に、素直な気持ちで自分の心を見つめ、多くの気づきと大切な人との心のつながりが持てる場だと思えます。このご縁をいつまでも大切にしたいなぁ・・・。

理事長 江幡博明

今回のテーマは「心のつながり」です。まず心とは何なのでしょう？心はどこに在るのか、心の臓と書くように心は心臓にあるのでしょうか？それとも脳にあるのでしょうか？またまったく別のものなののでしょうか？心の表現方法は喜怒哀楽だからやはり脳なのか・・・。それとも皮膚？
このように心について考えると、人は心についてまだ何も理解していないことがわかります。自分の心について何も解っていないのだから、他人の心を理解することはとても難しいことです。でも理解は出来なくても対応は可能です。それは「思いやり」で相手の立場にたって行動すること。みんなが思いやりの気持ちで行動すればそれが「絆」となります。心とつながりとは「絆」ではないでしょうか。

大和塾からのお知らせ

平成 22 年 4 月 21 日よりミニセミナーでの第二弾が開催されます。第二弾のテーマは「メンタルヘルスケア」。まさに今回の会報のテーマと同じ「心」の問題の解決を目指します。
担当は福祉委員長の岩下由加里氏です。看護師・社会福祉士・ケアマネジャーの3つ資格を有する「心」の専門家です。大和塾ではこの3つの資格を持っている専門家を「ヘルスケアコンシェルジュ」と呼ぶことにしました。セラピストやコンサルタントというような上から目線ではなく、さりげなく側に居て必要に応じて手を差し伸べてくれます。
今回のミニセミナーも是非ご期待下さい！

PR コーナー

賢人塾の仮設ホームページがオープンしました。

www.kenjinjuku.jp

まだ仮設なので内容の更新はありませんが、みんなで毎日アクセスして検索順位が上がるようにしましょう。大和塾のホームページにリンクがはってありますので、大和塾 賢人塾のルートでアクセスしてください。お時間があれば理事長ブログもよろしくお願いします。

仮設ホームページは田端代表がわざわざ水戸まで来てくれて打合せをして僕が作成したものです。公式ホームページは、完全リニューアルで大幅にグレードアップして開設しますので、楽しみにしていて下さい。

一般社団法人 常陸國大和塾
〒310-0912
茨城県水戸市見川 3-741-1 C101
TEL029-303-7772 FAX029-303-7773
www.yamato-juku.jp
info@yamato-juku.jp

(株)アイ・シー・キューブ www.ic3.co.jp
(株)高竜組 www.takaryu.co.jp
(株)ねぼけ neboke.pocketweb.jp
(有)ファイブ・アローズ aozora-felice.blog.ocn.ne.jp
(有)ビックワールド www.7b.biglobe.ne.jp/~big-world/big-world.html
(株)ストアー谷津 global-meat.jp
タンポポグローバル(株) gourmet.yahoo.co.jp/0007549333/
皆川社会保険労務士事務所

理事・福祉委員長 岩下由加里

私の専門分野は、高齢者ケアです。日本の高齢者問題の中に『認知症』があります。記憶障害を中心とする症状により、日常生活が自立できず、介護を必要とする高齢者が増加しています。

そういう認知症高齢者の中には、言葉を忘れてしまう状態になる方もいらっしゃいます。言葉を忘れた方に対して、介護の専門家である私はどう関わり、心をつなげていけばよいのだろうと、日々、葛藤しています。『言葉』というコミュニケーション手段の中で最も大きな役割を占める行為が認知症によりできなくなってしまった方は、言葉以外のコミュニケーションをフル活用することで、心がつながったのではないかと感じられる瞬間があります。私の表情や態度、肯定的な言葉のトーンやスピード・柔らかさ、そして、高齢者の体を触れる私の手の温かさ、そういう非言語的なコミュニケーションが、言葉を忘れてしまった不安におびえる高齢者の心に説明することのできない『温かさ』を伝えることができるのではないのでしょうか。そういう瞬間に眼と眼が合い、高齢者には笑顔が生まれ、不安な表情から安心した表情に変わるのです。

『心がつながる』それは、日々のその瞬間の積み重ねではないのでしょうか？

理事 谷津泰宏

私にとって、心のつながりとは、存在する全てに共通する意味とか意義と捉えています。人や物、自然は全てに意味があります。単に人間だけがつながっている訳でなく、自然の一部として存在していると考えられたら、どんな事もつながるのではないのでしょうか。全てにありがたいという良心を持ち、心のつながりを意識しながら大和塾で成長していきたいと思えます。

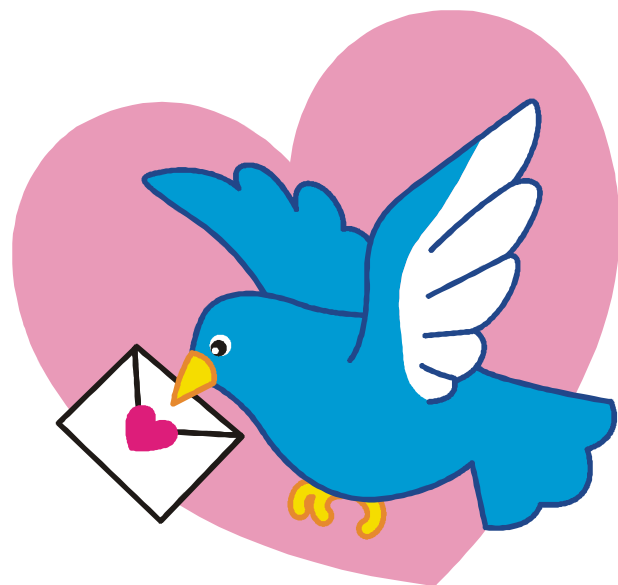
理事・人財育成委員長 岩本貴志

「心のつながり」というのは、自分自身が考えさせられる深いテーマである。

第一に心というものが難しい...

「心とは」考え方・気持ち・感情等と人のそれぞれの想いにあたる場所だろうが、人間の形である外の部分ではない、内面の人間の形であると自分は思い様々な形があり立場、環境等でも違う。その心を磨くことが、成長であり、大きくなる一歩でもある。

その成長する過程の中で、人間はいろいろと様変わりしぶつかり合う...その時に、心が通じ合った時に「心のつながり」ができるものだと思う心が様々ある中で、つながりあうために必要なのは、自分の心だけでない相手の心を知ってあげる気持ちからが大事だと思う。相手の心を知り、そして自分の心伝える。その互いのわかり合う気持ちを生み出す為に、時間を共有したり、話し合ったり、行動してみたりと行うことで「心のつながり」はできるものだと自分は信じている。

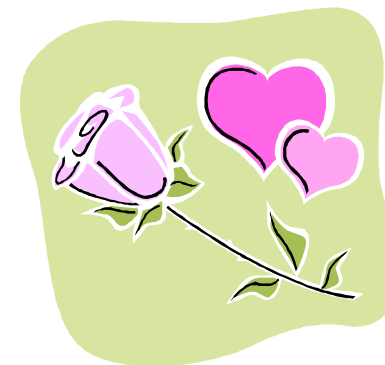


将軍会員 栗田隆宏

このテーマについて私は、基本的に人間間でのものと考えます。人と人との繋がりの中では、「信」の心が大切であるとおもいます。「信」をつくる為に、自らが何をすればいいのかを考えた時、私は「無財の七施(むざいのしちせ)」を心がけています。まだまだ未熟者ですから、いつも常には出来ておりません。ご参考までに、これをお読みいただいている皆様に。無財の七施というのは、お金がなくてもできる事、老若男女を問わず誰でもできる事です。

捨身施(しゃしんせ)人のために自分の身をもって。
心慮施(しんりょせ)喜びも悲しみも我がこの様に。
和顔施(わがんせ)いつも和やかな顔・笑顔。
慈眼施(じげんせ)慈しみの眼差し。
愛語施(あいごせ)和やかな、喜びを感じるような言葉。
房舎施(ぼうしゃせ)雨の日に人をそっと傘に入れるような行動。
床座施(しょうざせ)そっと席を譲る優しさ。

こんなことを、意識していけば、行動が少し変わり、習慣も変わり人格というか、ものの考え方も変わっていきます。考え方が変わっていけば、それに応じて人との出逢いも変わります。人生は、どんな人に出逢うかで変わっていきます。自分から自分の心を変えることで、なにかよいつながりが続いていけば人生がより心豊かに楽しくなっていくものと信じております。



待会員 小田真吾

皆さん、こんばんは。小田です。今回のテーマ「心のつながりとは」についてですが、まず心とは何かを考えました。心とは自分自身のことであり、ありのままの自分ではないかと思えます。他人に対しては偽った思いを伝えることが出来ても、自分の心に対しては偽ることは出来ませんよね。私は学校や会社で同じ時間を長く過ごした友人や先輩たち、いまでも共に学んでいる仲間たち、そしてもっとも大切な家族に心のつながりを感じることが出来ます。例えば、長い間直接会うことが出来ない旧友たちは、連絡を密に取り合わなくとも手紙やメールなどで互いを気にかけています。それは同じ目標に向かって一緒に行動したり、同じ体験をした経験などから、相手のことを理解し思いやる気持ちが自然に湧き上がってくるのではないのでしょうか。大和塾においても古き良き日本人の心をみんなと共有し理解を深めることで、心のつながりを深めていけたらと思っています。宜しく願い致します。

待会員 西郡太

色々な「心のつながり」があると思いますが、私が「心のつながり」と聞いてイメージしたのが、妻との「心のつながり」でした。

私事ではございますが、妻とは結婚して5年になります。ここ2~3年は仕事ばかりであり家にいる事が少なく、家事や育児のほとんどを妻に任せっきりで、会話不足と育児ストレスから先日夫婦喧嘩をしてしまいました。その時たまたまなのか、妻から「心のつながりを感じられない」と言われました。本当に色々考えた瞬間でした。

夫婦間の「心のつながり」だけでなく、子供との「心のつながり」や、友達との「心のつながり」だったり...。色々な「心のつながり」があると思いますが、本当に心がつながっていると思える人がいると思えるだけで、心から不安や不満など随分減っていくのかな...と思いました。

より良い人生を生きていくためにはすごく大切なものだと思います。私も一人でも多くの人と「心のつながり」を持てるように努力していきます。